

新型コロナウイルス雑感(3)

2020年6月22日

小高俊明

非日常的現象の発生

新型コロナウイルスが、パンデミック（世界的大流行）と宣言される重大な局面に立ち至ってしまった。 コロナウイルスの実態がつかめないうえに、混乱収束のめどが立たない。我々の周囲にも経験したことのない事態が次々と発生している。中には思わず苦笑してしまうようなことが身の回りに続出。いくつかを拾ってみた。

*体温計の電池が品切れ

何年も使っていない体温計で久しぶりに定時検温を始めたら約1週間で電池が切れてしまった。慌てて電池を買いに行ったが何処も売り切れで、次回入荷時期は不明の状態。やむを得ず検温をしてくれる店を探し、用もないのにその店に時々行くことにしている。危機対応の甘さを痛感。

理容用バリカンや鋏も異常に売れているとのこと（理髪店の三密避けて自家散髪?）。髪の毛と爪は不況や年齢に関係なく、スクスク伸びることを改めて知らされた

*観光地に来ないで

日頃は観光客を呼び込むために多大な予算をつぎ込んでいる観光地も、コロナ対策で「是非来ないでください」とTV、新聞で観光客に重ねて呼び掛ける。珍現象！でも経営上は大問題なので完全収束を待たずに「制限付きですが是非おいでください」の大キャンペーンが始まる。この時期複雑な気持ちだが同情もしたい。

*4月16日「国民へ一律10万円を給付(特別定額給付金)」を政府表明。

@10万円と聞いて、おカミからのお恵みをいただくように喜ぶイジラシサ。申請はオンラインか、書類かの2択なので、オンライン申請（5月上旬）にしたところ5月21日に銀行に振り込まれた・・・オンラインのお蔭で想定外の早さ感激。ところが6月10日頃「特別定額給付金申請用紙」が郵送されて来るといふ珍現象。シラバックレテ申請書を出したら更に@10万円入ってくるかな？と誘惑に負けそうだったが、二重請求の詐欺罪で捕まるといけないので、苦渋の決断で申請をやめた。申請したら入金されたはずとの心残りが今でもないわけではない。

*DV(家庭内暴力)が頻発

在宅勤務、幼稚園・学校の全面休校で、家庭内は会社の勤務時間や学校の時間割に合わせてそれぞれ始業、休憩、終業との時間管理の生活に突然変わってしまい、家族全員が毎日のように1日中家庭内で顔を突き合わせるようになった。

家族団らんのためにいいことだと思ったが、主婦にとっては負担増ばかりでなく、自由時間が無くなり欲求不満が募る結果、家庭内不和や暴力沙汰に発展し、警察への被害届出が増加しているとのこと。

暴力の被害届が夫から出されるケースもあるらしい。

***不登校生が活性化**

不登校で家にくすぶっていた生徒がオンライン授業に切り替わって、見違える様に明るく積極的に勉強する生徒が出てきているらしい。 母親を始め担任の先生も大喜び。理由は友達や先生との余計な干渉や気遣いがいらなくなったためだそう。

人間に必須の集団生活になじめない人たちが増えているのだ。

不登校生は、昔は学校全体で何人かだったが、今は1クラスに何人かいるのは当たり前らしい。オンライン授業で不登校生が活性化されたことがニュースになる世の中だ。

***原油価格がマイナスになった** (原油がタダばかりでなくお金をつけてもらえる)

原油生産国市場での先物取引価格が瞬間的にマイナスになったという珍現象。

世界の燃料需要が急速に落ち込んだのに、生産調整ができなかったため原油保管容量を大幅に上回る生産になってしまった。この超過量を別途保管するには莫大な費用が掛かるため、お金をつけて引き取ってもらう羽目になった。最近街のガソリンも安くなったが、再び元に戻りそうな気配だ。値上がりは早めに来て長く続くが、値下げは遅く来てすぐに戻ってしまう。 我々にもマイナスで売ってくれないかなあ。 以上